22年度省エネの取り組みについて

2023年2月27日（月）

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

セブン-イレブン・ジャパン　会社概要

【設立】　1973年（1974年5月　第1号店開店　江東区豊洲）
【本社所在地】　東京都千代田区二番町８番地８
【社員数】　8,930人（2022年2月末時点）
【代表取締役社長】　永松 文彦

【国内47都道府県の店舗数】

21,323店（2023年1月末現在）

【チェーン売上高】

4兆9,527億82百万円（2021年度実績）

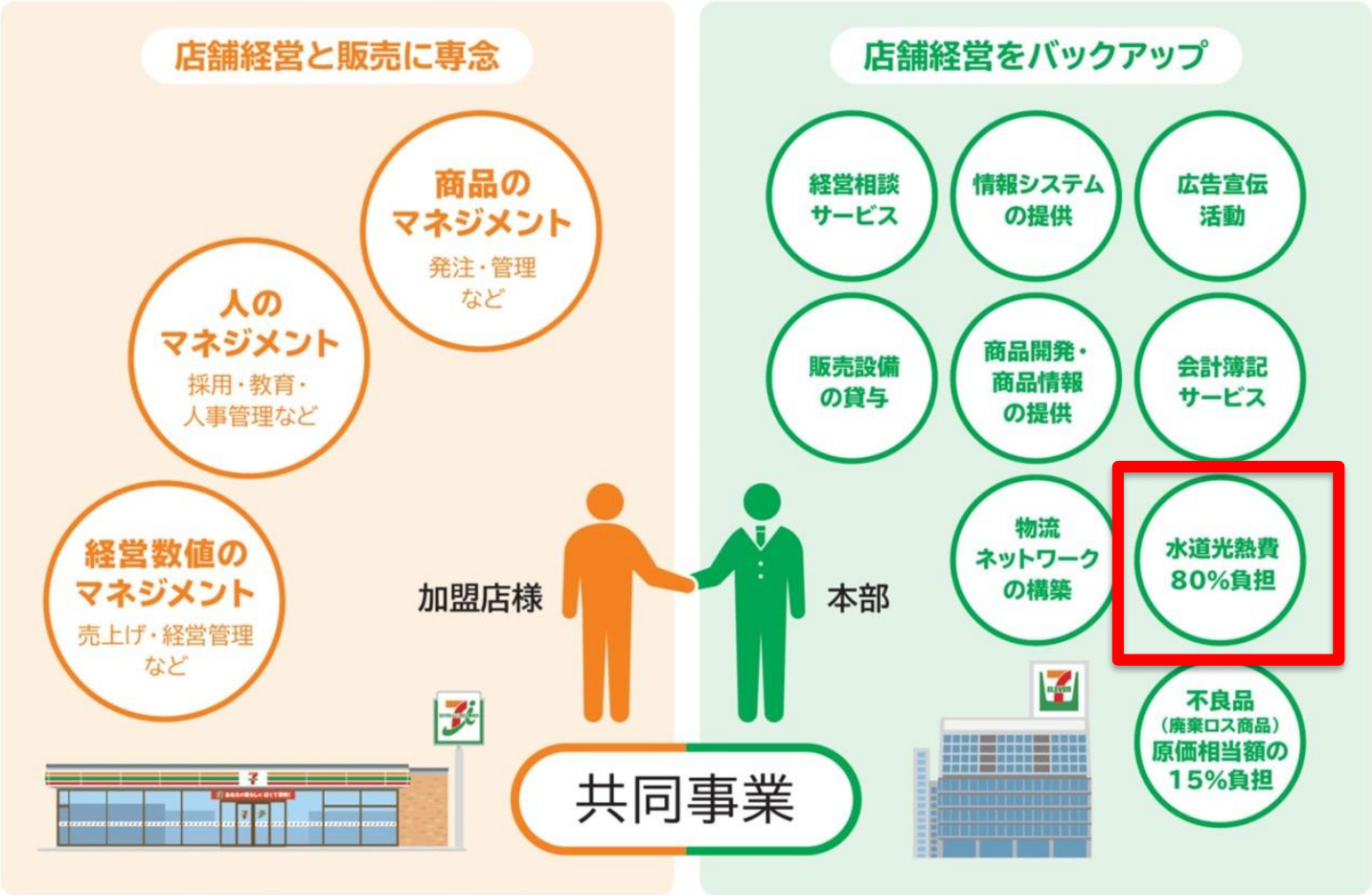
【売上構成比】

食品67.7%、非食品32.3%

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

セブン-イレブン・ジャパン（ＳＥＪ）とは・・・

・ＳＥＪは、フランチャイズ・ビジネス（加盟店は独立の経営者）



役割り分担による共同事業

フランチャイズビジネス
＝ヒューマンビジネス（信頼関係）
であり説得業（得を説く）

＋

・水道光熱費
８０％が本部負担

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

10年前の取り組み

■東京都との取り組み

◎クール・ネット東京

（東京都地球温暖化防止活動推進センター）

◆節電ガイド作成：14年7月

東日本大震災の後、節電の取組として一緒に「節電ガイド」作成

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

改めて10年前の取り組みからの見直し

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

■節電ガイドのポイント

目次（P-D-C-Aの手順）

Step 1 現状の把握 ～電気の使用状況を把握しよう～ 5

Step 2 目標の設定 ～電気使用量･電気料金の目標を決めよう～ 11

Step 3 節電対策の実施 ～取り組み内容を決めて、実行しよう～ 12

①冷蔵冷凍設備 の節電対策 15
②空調設備 の節電対策 17
③冷蔵冷凍設備･空調設備共通 の節電対策 19
④照明設備 の節電対策 21
⑤加熱保温設備 の節電対策 23

Step 4 結果の振り返り ～取り組みを振り返って、次に活かそう～ 24

■節電対策を着実に進めるためのヒント

■節電対策を着実に進めるためのヒント

具体的な節電対策の内容に入る前に、節電対策を着実に進めていくために基本となることをここで確認しましょう。

①チームワークで取り組むこと

省エネ･節電の基本は、全員で取り組むことです。

各スタッフミーティングで、節電対策を議題に挙げましょう。

最初は、店長自らが率先して取り組み、徐々にスタッフと連携して、全員参加型の体制を目指していきましょう。

また、積極的に取り組んでいるスタッフを評価したり、スタッフの中から"エコリーダー"を指名したりすることも有効です。

②エネルギーの無駄を見つける目を持つこと

必要なところへ、必要なときに、必要なだけのエネルギー（電気）を使っているかどうか、店長として、常日頃から意識することが大切です。これは、節電だけでなく、スタッフの作業を効率化することにも繋がります。

スタッフの中から"エコリーダー"を指名したりすること

（出展）コンビニ店長のための節電ガイド　クール・ネット東京　H23年度作成

節電の取組は、時間が経っても変わらない！時代に合わる事が重要

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

ＨＴＴ・ゼロエミッション推進協議会　優良事例表彰

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

【事業者部門】取組概要	企業・団体名	株式会社　セブン-イレブン・ジャパン

取組名	省エネインナーキャンペーンを含めた「省エネ体制」づくり

取組内容

①地区の営業トップによるメッセージを発信。各店舗に**省エネリーダーを設置を推奨**。
②省エネカウンセリング・数値検証のため、立地・売上等の類似店と自店の電気使用量を比較し、数値検証できるツール・アプリを導入。**７・８月の「電気使用量」について基準月に対する増減率を店舗ごとに評価し、各地区の上位店を表彰（予定）**。
③本部・地区事務所も「ノー残業デー」や空調の設温度確認、日々の節電の実施。

評価ポイント

・フランチャイズ制のため指導・指示の難しさがある中、**カウンセラーによる検証、各店舗の省エネリーダー設置、表彰**、取組事例共有、各店舗での電気量見える化等工夫が多い。
・**省エネカウンセリングツール**は先進的。

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

【省エネ】年間通じた取り組み

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

4～5月

体制づくり

7～8月

インナーCP

参加店：20,100店(99.2%)

10～11月

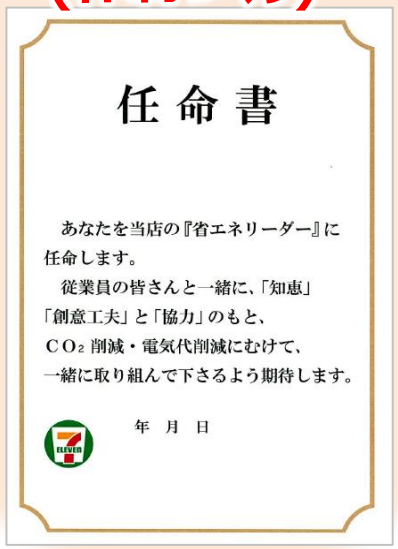
中間期の空調機の適正利用

1～2月

冬の節電対応
冬の6か条

22年度は3つの柱を立てて取り組む

❶節電リーダー任命（体制づくり）



任 命 書

あなたを当店の『省エネリーダー』に任命します。
従業員の皆さんと一緒に、「知恵」「創意工夫」と「協力」のもと、
CO_2 削減・電気代削減にむけて、
一緒に取り組んで下さるよう期待します。

年　月　日

❷継続した情報発信「ちょっとのなるほど動画」毎月案内

❸その他取り組み

TV放映

節電　座談会
ファミリー誌9月号掲載予定

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

省エネスケジュール（３月～10月まで抜粋）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

全国会議発信

省エネ準備（4月）

店舗参加率 99.2%

インナーCPN本番（7・8月）

エリア別会議発信

4/24～ 地区責任者動画発信

5/18 ウォークイン開放注意

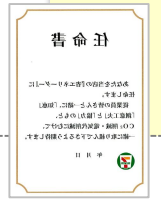
6/7 暖房便座 段ボール開梱 冷凍ペット予冷

7/5 省エネ6項目逼迫時の対応

8/16 H/C切替時の注意点

9月 秋のCPに向けて

10月 調整中



4月～
①省エネリーダー選任
②省エネ体制・行為確認表
③電気使用状況確認表
④ウォークインカーテン設置
⑤フィルターマップ作成

5/8 TV放映(TBS)

フレンドリーポスター掲示

7/27 座談会

ファミリー誌７月号 省エネリーダー掲載

9/27 ファミリー誌9月号配布 座談会掲載

9～11月 CPN結果集計

「ちょっとのなるほど動画」毎月案内

4/24～ フィルター清掃

5/22～ ウォークイン開放注意

6/19～ 暖房便座 電源オフ

7/下～ アイスケース ロードライン

8/下～ ウォークイン開放注意

9/下～ HC切替

10/下～ 調整中

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

22年度の対応（本部：ＯＦＣ向け）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

■カウンセリングツールの作成

※ＯＦＣ＝店舗経営相談員

ＯＦＣがお店と一緒に「検証したくなる」仕組み（アプリ）

【これまで】

【22年度】

・ＳＣで、自店の情報のみ確認

（問題点）基準が分からない

※SC＝ストアコンピューター

・カウンセリングツールで、

類似店との数値比較→課題抽出

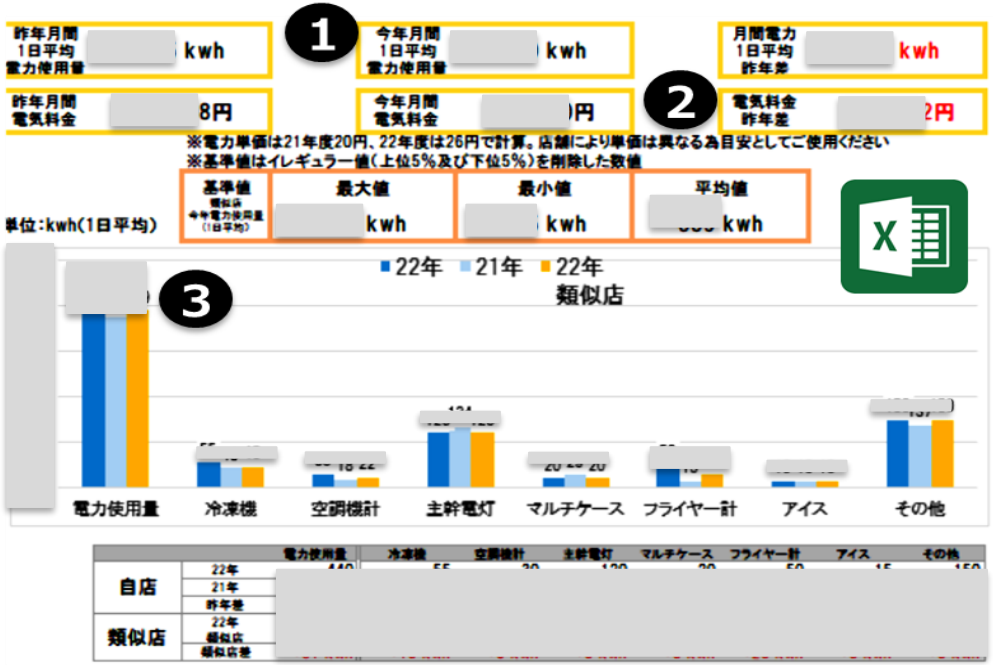
※類似店＝売上・経過年数・エリアを基に約100パターンに分類

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

新たなカウンセリングツール（OFC-お店）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

■月別電力使用量確認表

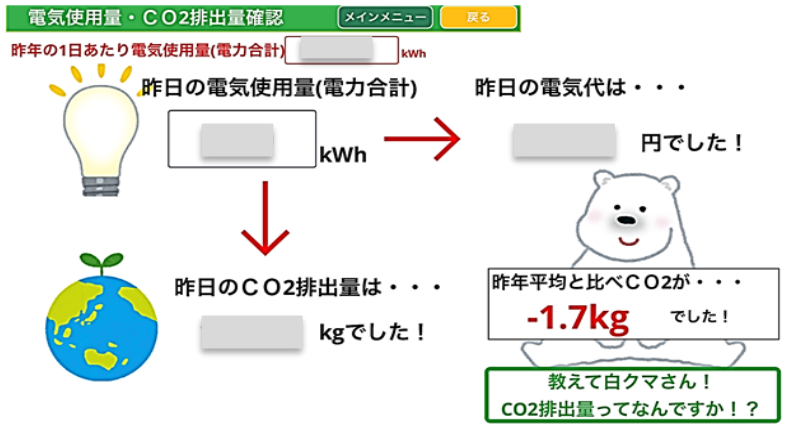


確認できること①

❶店全体電力使用状況
❷電気料金と前年との差額
❸店内設備別電力使用推移
類似店舗 との比較

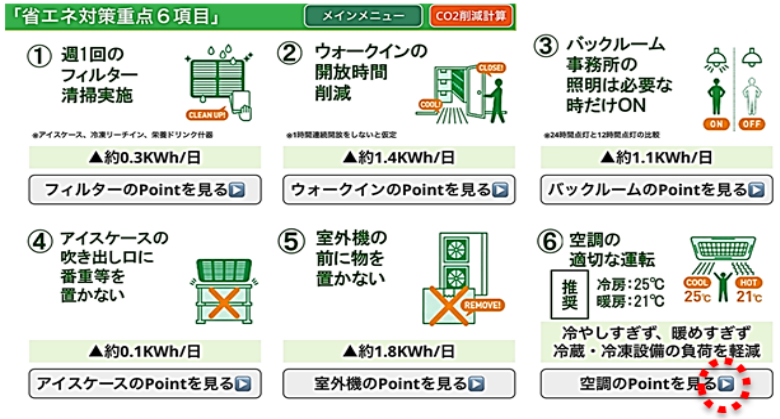
現状分析「見える化」

■節電カウンセリングアプリ



確認できること②

・電気使用量 電気代
・CO2排出量



確認できること③

・省エネ対策重要6項目
・設備の使い方
・改善ポイント

タッチで具体的に確認可能

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

22年度の対応（加盟店：従業員さん向け）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

■啓発動画の作成

【ポイント】省エネリーダーが、従業員さんと一緒に見る事が出来る

【これまで：月１回】

【22年度の対応：接客・販売とは別に】

・接客・販売に関わるポイント

従業員さんが短時間で見てわかる（約１分）

・「節電」のポイント

計画的に発信（月１回）

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

体制構築で継続した取り組みへ

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

OFCが実施する事

①省エネ体制確認表（月１回）※掲示板

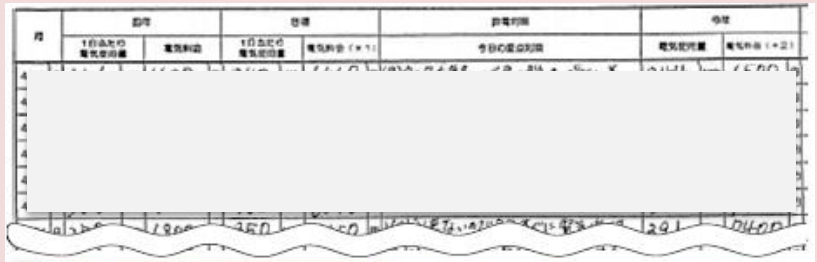
②ＰＬ／ＢＳ出力時、水道光熱費の確認
（金額面での検証）

③カウンセリングツール等を
用いた削減行為の確認

お店で実施する事

①オーナーさん・省エネリーダーさんと
打合せながら、省エネ行為を進める

②当月の行為・数値目標を決め
実施状況を確認、数値を検証する



© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.